

令和3年度
履修証明社会人コース
募集要項



東北福祉大学
Tohoku Fukushi University

東北福祉大学 履修証明社会人コース 募集要項

このコースは、学校教育法第105条に基づく履修証明制度に則り、東北福祉大学が独自に設置する社会人向けのコースで、幅広い学習ニーズに応え、体系的で専門的な学習課程を広く一般の皆様を提供するものです。

従来の公開講座や社会人聴講生に比べて、より専門的・体系的に1年間かけて学習できるのが特徴で、海外ではサーティフィケートと称される制度の日本版といえるものです。

本年度は、「福祉用具生活支援」コース、「異文化コミュニケーション」コース、「重度障害者 ICT 支援コーディネータ入門」コース、「自分再発見」コースの4コースを開設いたします。コースごとに履修科目（必修科目、選択科目）と最小履修単位が設定されており、所定の科目を履修し、合格すると、履修証明書が交付されます。

また、「福祉用具生活支援」コースでは、「福祉用具専門相談員」の指定講習修了者として福祉用具の貸与・販売をする事業所等で、学んだことを活かすことができます。

高校卒業程度の学力があり、高い学習意欲をお持ちの方であれば、どなたでも入学資格があります。多くの皆様のお申し込みをお待ちしております。

1. 募集人数及び在籍期間

- (1) 各コース 20名
- (2) 在籍期間は1年とし、2年まで延長を認める。

2. 入学資格

一般社会人で高等学校を卒業した者、または同程度の学力を有する者

3. 申し込み期間

令和3年3月3日（水）～令和3年3月17日（水） ※必着

4. 申し込み書類

- (1) 入学願書（本学所定用紙）
- (2) 健康診断書
- (3) 勤務先を有する者は、その所属長の承諾書

5. 申し込み方法

- (1) 申し込みの受付は、郵送のみとします。
- (2) 申し込み先
東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター
生涯学習支援室
〒983-8511
仙台市宮城野区榴岡2-5-26
東北福祉大学仙台駅東口キャンパス2階
TEL 022-766-8834

6. 入学の許可

書類審査の上、判定します。

7. 入学納付金

入学金は下記の通りで、消費税を含む金額です。

入学選考料	5,000円
	(※申し込み時に指定口座に振り込み)
入学金	10,000円
授業料	50,000円

なお、福祉用具生活支援コースで福祉用具専門相談員の資格を希望する場合は、福祉用具活用実習（資格取得登録料含む）の実習費として別途2万円が必要となります（入学後に手続きすることになります）。

8. 入学手続き

入学を許可された者は、指定期日内に入学納付金を納付し、手続きを完了して下さい。

9. 留意事項・その他

- (1) 指定期日内に入学手続きを完了しない場合は、辞退したものと見なし入学許可を取り消します。
- (2) 一旦納入した納付金は、原則として返還しません。
- (3) 聴講態度が授業に著しい支障をきたすとみなされる場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 授業は、国見キャンパス、ステーションキャンパスで実施されます。
- (5) 半期の科目は、通常、週1回で15週にわたって授業が実施されます。
- (6) 通学は、公共交通機関をご利用ください。
- (7) パソコンやインターネット接続環境、通信費はご負担ください。
- (8) 詳しくは、ウェブサイト www.tfu.ac.jp/lle をご覧ください。

授業は、対面授業とオンライン授業の組み合わせ、またはオンライン授業のみ（科目により異なります）で実施する予定です。

問合せ先

東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター
生涯学習支援室

TEL 022(766)8834 FAX 022(766)8835

〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡 2-5-26

東北福祉大学仙台駅東口キャンパス館 2階

福祉用具生活支援コース

このコースは、さまざまな福祉用具の利用についての専門的知識と技術を習得すると共に、高齢者福祉・障害者福祉について基礎知識を学ぶことを目的としています。また、希望者は、「福祉用具専門相談員」の資格を取得することも出来ます。

履修単位：12単位以上

科目名	単位数	開講学期	履修方法
介護論	2	前期	3科目 6単位必修
福祉用具と生活支援Ⅱ	2	前期	
高齢者の保健福祉とリハビリテーション	2	前期集中Ⅰ	
障害者福祉	2	前期	この中から 3科目6単位以上 選択
高齢者福祉	2	前期	
公衆衛生学	2	後期	
解剖生理学	2	後期	
リハビリテーション論	2	後期	
病弱者の心理・生理・病理	2	後期	
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	後期	
老年心理学Ⅰ	2	前期	
老年心理学Ⅱ	2	後期	
福祉用具活用実習	1	前期集中Ⅱ	選択※

○前期＝4月12日～7月30日（週1回、計15回）、後期＝9月13日～1月28日（週1回、計15回）

通年＝4月12日～7月30日＋9月13日～1月28日（週1回、計30回）

前期集中＝8月30日～9月1日、9月6日～9月8日に実施される連続3日間の集中講義

授業は原則として平日の日中に行います。一般の学生と一緒に受講することになります。

※「福祉用具専門相談員」の資格を希望する場合、「福祉用具活用実習」は必修となります。「福祉用具専門相談員」の資格は、必修科目（3科目の内「介護論」を除く2科目4単位）すべてを前期内に履修し、合格した場合にのみ認定されます。

「福祉用具専門相談員」とは

福祉用具専門相談員とは、福祉用具貸与事務所や福祉用具販売事務所で、居宅要介護者や居宅要支援者が福祉用具を選定するに当たり、福祉用具に関する専門的知識に基づく助言を行うものをいいます。この「福祉用具生活支援コース」は、福祉用具専門相談員の資格を取得できる指定の講習となっています。

なお、保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士等の有資格者は、福祉用具専門相談員の資格がなくても、福祉用具専門相談員として指定福祉用具貸与事業所等で勤務が可能です。

異文化コミュニケーションコース

グローバル化がますます進む現在、その波によって世界の様々な情報・人・文化の往来と伝播が起りましたが、それに伴い格差社会、環境破壊、食糧難、一律西洋化など負の面も、今大きな課題として世界を覆っています。グローバル化の波に乗ってくるのは人・もの・情報ばかりではありません。周知のように、未知のウイルスや細菌、害虫などもこの張り巡らされた交通網に乗ってやってきます。水際の対策が十分に必要であると同時に、一国だけでこれらの問題を解決することは困難で、垣根を越えた国際協調が欠かせません。この不透明な激動の時代にあって、情報の真偽を見極め、変化に対応し、試行錯誤を通して、強調しながら課題を解決していく人材が求められています。このコースでは、国際理解や協調、アイデンティティーにかかわる問題を学修するとともに、対話を下支えするための日本語と同時に英語を中心とした実践的な外国語のコミュニケーション力を高めることを目指します。

履修単位：12単位以上

科目名	単位数	開設期間	履修方法
グローバルコミュニケーションⅠ	2	通年	必修
現代社会と政治	2	前期	この中から 3科目 6単位以上 選択
政治学原論（国際政治を含む）Ⅰ	2	前期	
政治学原論（国際政治を含む）Ⅱ	2	後期	
文化人類学	2	前期	
日本文化史	4	通年	
国際協力論	2	後期	
国際メディア論	2	後期	
特講（安全保障論）	2	後期	
情報と社会（知的財産を含む）	2	後期	
ソーシャルメディア論	2	後期	
アジア共同体に向けて	2	後期	
異文化理解Ⅰ（予定）	2	後期	
グローバルコミュニケーションⅡ	2	通年	
英語Ⅰ*	2	前期	この中から 2科目 4単位以上 選択
英語Ⅱ*	2	後期	
英語Ⅲ	2	通年	
実用英語E	1	前期	
実用英語F	1	後期	
観光英語	2	前期	
観光英語Ⅱ	2	後期	
中国語Ⅰ*	2	前期	
中国語Ⅱ*	2	後期	
中国語Ⅲ	2	通年	
ハンゲル講座Ⅰ*	2	前期	
ハンゲル講座Ⅱ*	2	後期	
ハンゲル講座Ⅲ	2	通年	
実用ハンゲル講座A	2	前期	
ドイツ語Ⅰ*	2	通年	
ドイツ語Ⅱ*	2	通年	
ドイツ語Ⅲ	2	通年	
実用ドイツ語A	2	通年	

○前期＝4月～7月（週1回、計15回）、後期＝9月～1月（週1回、計15回）

通年＝4月～7月＋9月～1月（週1回、計30回）

授業は原則として平日の日中に行い、一般の学生と一緒に受講します。集中講義は3日間連続で行われます。

○外国語Ⅰ/Ⅲは週2回授業が行われますのでご注意ください。中国語など初習外国語についてはⅠから履修を行うようにしてください。

○履修科目の授業内容はシラバスをご参照ください。履修科目構成は変更される場合があります。

重度障害者 ICT 支援コーディネータ入門コース

高度情報化社会にあつて、コンピュータを我々人間の能力を補完する“道具”として考えた場合、それを活用することで私たちは多くのことを実現できます。一方で、重度障害のために寝たきりやそれに近い状態の人々は、コミュニケーション方法が限られたり、社会との結びつきから遠ざからざるをえない状況にあります。このような人々こそ、自分らしく生きるために“道具”を必要としています。

しかし、実際にはこのための支援を行いうる人材が地域では非常に限られているのが現状です。我が国のどこに行っても、ICT 支援を行っているのは特定の限られた人たちです。

そこで、このコースでは、重度障害のある方たちへの ICT 支援を行いうる人材を育成します。障害や病状の進行などに合わせ、このような人たちを長期に渡ってサポートしうる、知識、技術、経験を積んだ人材を育てることが本コースの目的です。

履修単位：12 単位以上

科目名	単位数	開設期間	履修方法	
障害者福祉	2	前期	4 科目 8 単位 必修	
情報支援技術論	2	前期		
情報支援ケーススタディ	2	前期		
情報支援基礎実習	2	通年		
情報処理実習	2	通年	2 科目 4 単位以上 選択	
情報処理応用実習	2	通年		
ソーシャルワークの基盤と専門職	2	前期		
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2	後期		
基礎運動学（バイオメカニクス）	2	後期		
福祉支援工学	2	後期		
高齢者の保健福祉とリハビリテーション	2	前期集中		

○科目の構成、開設期間は変更することがあります。

○前期＝4月～7月（週1回、計15回）、後期＝9月～1月（週1回、計15回）

通年＝4月～7月＋9月～1月（週1回、計30回）

授業は原則として平日の日中に行います。一般の学生と一緒に履修することになります。

○パソコンに関する以下の知識や技術を既に有する方は「情報処理実習」ならびに「情報処理応用実習」を履修する必要はありません。

①Internet Explorer などのブラウザが使える、Google などで情報検索ができること。

②メールの送受信やネットワークの設定ができること。

③Microsoft Office(Word, Excel, PowerPoint)の基本的操作ができること。

○重度障害者 ICT 支援コーディネータ資格コースは、開講いたしません。

「重度障害者 ICT 支援コーディネータ」とは

重度障害者に対し地域においてパソコン等IT機器の利用支援を行うことのできる、知識・技術・経験を身につけたコーディネータのことです。NPO 法人「せんだいアビリティネットワーク」が資格認証を行っています。

自分再発見コース

このコースのテーマは「自分を見つめ、伝え、表し、再発見する」です。他人とのコミュニケーションがうまくとれないことで悩んでいる人たちが多い現代。まず、自分自身について様々な角度から考えられるようになってもらいたいです。自分が知っていると思こんでいる自分、自分だからこそ知らない自分があるはずだからです。本コースで自分を見つめ直す心理学的な視点を学び、さらに手足を使って「表現活動」を行います。「表現」を極めていくというプロセスがどんなに自分自身や他者との対話を必要とするかに気づいてもらいたいです。このコースで自分という存在の価値や可能性を再発見できたという喜びを感じてみませんか。

このコースは次の2つの目標を掲げています。1つ目は、「自分史」を作成することです。「ライフスパン（生から死）の中の自分」そして「他人との関係づくりの中の自分」という心理学などの視点を学び直し、自分の心や身体を見つめ直します。2つ目は、手足をつかって「表現活動」を行うことです。自分の心身について手足を躍動させて創造的に表現する技能を学びながら、自分や他者とのコミュニケーション能力を高める場を体験します。

履修単位：12単位以上

科目名	単位数	開設期間	履修方法	
発達心理学	2	前期	必修	
社会貢献論	2	前期	1科目	
地域共創福祉論	2	後期	2単位以上	
成人保健	2	後期	選択	
人間関係論	2	前期	2科目 4単位以上 選択	
カウンセリング	2	前期・後期		
健康心理カウンセリング概論	2	前期		
社会・集団・家族の心理学(家族心理学)	2	前期		
ネットワークコミュニケーション論	2	後期		
臨床心理学	2	後期		
ことばと表現	2	前期・後期	2科目 4単位以上 選択	
NIE活動論	2	後期		
身体表現Ⅰ	1	後期		
身体表現Ⅱ	1	前期		

○前期＝4月～7月（週1回、計15回）、後期＝9月～1月（週1回、計15回）

通年＝4月～7月＋9月～1月（週1回、計30回）

授業は原則として平日の日中に行います。一般の学生と一緒に受講することになります。

東北福祉大学
履修証明社会人コース 入学願書

*受付番号 _____

令和 年 月 日		写 真 (3cm×4cm)
東北福祉大学学長 殿		
貴大学の履修証明社会人コースに入学することを希望します。		
希望コース	1. 福祉用具生活支援コース 2. 異文化コミュニケーションコース 3. 重度障害者 ICT コーディネータ入門コース 4. 自分再発見コース	
フリガナ 氏 名 _____ 印 男 ・ 女 生年月日 大・昭・平 年 月 日生 (満 歳)		
現 住 所	〒 _____ TEL (_____)	
緊急時の連絡先	〒 _____ TEL (_____)	
履 歴		
学 歴	年 月 _____ 高等学校 科卒業	
	年 月 _____	
	年 月 _____	
職 歴	年 月 _____	
	年 月 _____	
	年 月 _____	
志望動機		

東 北 福 祉 大 学
 履修証明社会人コース 入学申込者 健康診断書
 社会人聴講生

受付番号 * _____

フリガナ			
氏 名			
生年月日	大・昭・平	年	月 日 生
現 住 所			
身 長	c m	体 重	k g
既 往 症			
内 科 所 見			
胸 部 エックス線 検 査	撮影年月日	令和	年 月 日
	所 見		
特 記 事 項			
令和 年 月 日 上記の通り、相違ないことを証明する。 住 所 (所在地) 医療機関名 医師の氏名			
			印

国見キャンパス
ステーションキャンパス

仙台市青葉区国見 1-8-1
仙台市青葉区国見 1-19-1



＜ 東北福祉大学国見キャンパス ＞

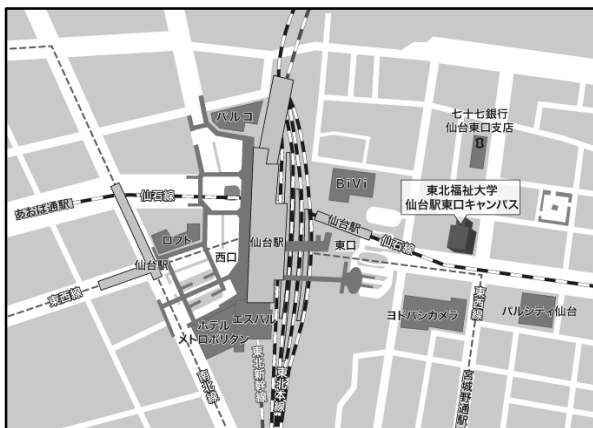
- JR 利用
JR 仙山線「東北福祉大前」駅下車 徒歩 5分
- バス利用
JR 仙台駅前（西口バスプール 9 番のりば）
北山・子平町循環または子平町・北山循環乗車
「東北福祉大前」下車 徒歩 0分
地下鉄南北線・北仙台駅から「東北福祉大前」下車
徒歩 0分
地下鉄東西線・川内駅（2 番のりば）から「東北福祉大前」下車 徒歩 0分

＜ 東北福祉大学ステーションキャンパス ＞

- JR 利用
JR 仙山線「東北福祉大前駅」下車 徒歩 0分
- バス利用
JR 仙台駅前（西口バスプール 15 番のりば）
貝ヶ森方面行き乗車「JR 東北福祉大前駅」で下車
徒歩 0分

仙台駅東口キャンパス

仙台市宮城野区榴岡 2-5-26



＜ 仙台駅東口キャンパス ＞

- 仙台駅東西地下自由通路 出入口 1 から徒歩 0分
- 地下鉄東西線「宮城野通駅」北 1 出口から徒歩約 3分

ご利用の際は、公共交通機関でお越しください。
※本学に駐車場・駐輪場のご用意はありません。



東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター
生涯学習支援室
〒989-8511 仙台市宮城野区榴岡 2-5-26
東北福祉大学仙台駅東口キャンパス 2 階
TEL 022(766)8834 FAX 022(766)8835
Eメール: life@tfu-mail.tfu.ac.jp
<https://www.tfu.ac.jp/lc>